



PHP 松下幸之助研究会と 関西 PHP・SDGs 友の会との 合同例会と忘年会を開催



2024年12月26日(木)午後3時から午後4時45分まで、京阪電車「西三荘駅」前の「PanasonicXC KADOMA」にて、会員6名と一般1名の計7名で12月の合同例会を開催しました。2025年に予定されている関西 PHP・SDGs 友の会との合同企画をはじめ、さまざまな課題についてのディスカッションが行われ、新年度に向けて盛り上がりを見せました。

特に、10月に PHP 松下幸之助研究会が招待した漫画家の黒田クロ先生（グリーンのベレー帽）にもご参加いただき、異なる視点からの意見交換が行われました。これにより、対話が一層活性化し、メンバーにとって良い刺激となりました。



新年度に向けて、SDGs の観点から「食と農業」に焦点を当てた取り組みを行おう！というテーマが提案され、PHP 松下幸之助研究会の木谷 昇世話人代表からは今後注目される「マイクロバジル」に関する話がありました。来年2月、東京で開催の「スーパーマーケット・トレードショー (SMTS) 2025」を関係者とともに視察するなど、この話題について、小澤名誉顧問も共感し、さらに具体的な取り組みが始動する予感を感じさせました。

また、関西 PHP・SDGs 友の会会長の金原からは、知人であるシニア世代の女性の実家が丹波市柏原町にあり、その土地を活用する方法を模索しているという話があり、現地視察の提案がなされました。加えて、12月8日(日)に開催された

「クリスマス SDGs チャリティ・マルシェ in KOBE」に、手作り野菜の販売で出店した一般社団法人ひらくの大西代表のスマイルファームプロジェクトとの連携についても意見が出され、実現性が高まることが期待されています。

さらに木谷代表からは、2025年4月5日(土)に守口市内で「PHP 松下幸之助研究会」と「関西 PHP・SDGs 友の会」、地元の「守恩会」との合同企画が計画中であることが発表されました。これには、黒田クロ先生をはじめとする多彩な講師陣を招いた講演会が予定されており、200名の参加者を見込んで準備を進めていくことが決定しました。

最後に、小澤名誉顧問から全国 PHP 友の会 SDGs プロジェクト結成3年目を迎え、関西 PHP・SDGs 友の会が創設されたことへの喜びの言葉がありました。また、松下幸之助翁生誕130年を迎えた今年を振り返り、新年度に向けてのさらなる飛躍を期待する力強いメッセージが送られました。合同例会後は17時から「だんらん酒場 あしたも元気」にて忘年会が開かれ、一年間の活動を振り返り、仲間に感謝の気持ちを伝えつつ、楽しいひとときを過ごしました。



新年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(文責：関西 PHP・SDGs 友の会 会長 金原由香)